

知事 映画を見て思ったんですが、俳優の皆さんは三重弁がとても上手で驚きました。

矢口 実は三重弁の翻訳は専門家に依頼したのではなく、地元美杉の皆さんにお願いをしました。実際に台本を録音してもらって、俳優の皆さんはそれを聞いてセリフを覚えていただいたんですよ。語尾とかイントネーションだけでなく、言葉と言葉の間もとても自然に表現できたと思っています。

市長 「神去なあなあ日常」の「なあなあ」という言葉には、三浦さんの思いがこもっていますね。

三浦 この言葉は私が勝手に作ったものですよ。ゆっくり行こうとか、落ち着けとか、くよくよするなっていう感じですね。のんびり行こうっていうことです。

市長 明るい未来に向かってのんびり行こうっていう気持ちがすごく伝わってくる、素敵な語感になっていますね。

三浦 ありがとうございます。

市長 さて、原作は名松線に乗って駅を降りるシーンから始まりますが、現在名松線はバスによる代行運転をしているんです。



矢口 そうなんですよね。ぜひ名松線で撮影したかったんですが、運休中ということで残念ですが、撮影をすることができませんでした。

市長 平成28年の春には、名松線が再開通し、主人公の勇気と同じように、名松線に乗って美杉を訪れることができるようになります。「ウッジョブ！」の公開を、美杉はもちろん津市全体が楽しみにしていますし、三重県内の皆さんにも見ていただきたいですね。

知事 そうですね。三重県の皆さんには、自分たちの地域にはこんなにいい所があったんだとあ



らためて感じていただければと思いますし、県外の人たちには、三重県に行くにあんない所があるんだという風に思ってもらえればと思います。ロケ地マップなども作ってPRしていこうと思っていますので、ゆっくりとなあなあな気分三重県に来てほしいですね。

市長 では、三浦さんと矢口監督から皆さんにメッセージをお願いします。

三浦 「神去なあなあ日常」を原作に素晴らしい映画にさせていただきました。三重県のすてきな風景がたくさん映ってますので、ぜひぜひ劇場へ足をお運びいただければと思います。

矢口 三重そして津市美杉の皆さんのおかげで、ものすごい映画が完成しました。山いっぱい、緑いっぱい、素晴らしい村の景色が映っていますし、娯楽映画として、びっくりするような楽しい映画です。小さい子どもさんからおじいちゃん、おばあちゃんまで、誰でも楽しめますので、ぜひ映画館でお楽しみください。

市長 知事からも一言お願いします。

知事 今回の映画「WOOD JOB! (ウッジョブ!) ~神去なあなあ日常~」はまさに三重県の財産です。三重県津市美杉を舞台に撮影されたこの映画をぜひたくさんの人に見ていただき、地域の活性化や発展につなげていけるよう、前葉市長と一緒にしっかりと全国に向けてPRを進めていきます。

市長 三浦さん、矢口監督、鈴木知事、今日はありがとうございました。

市長対談特別編は津市ホームページ・市長の部屋の市長対談でもご覧いただけます。 [HP](#) 津市 市長対談

検索

**5月2日 全イオンシネマ津にて
津市特別試写会を開催!**

市内に在住の皆さんから抽選で100組200人を招待します。
応募方法など詳しくは6ページをご覧ください。